



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—3 指数が揃って上昇し S&P500 とナスダックは最高値更新—

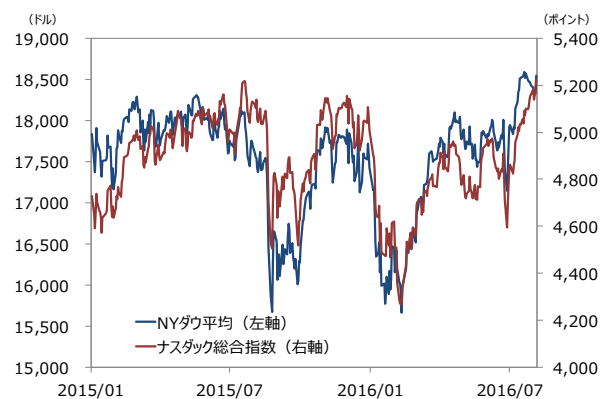
	前週終値	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,432.24	18,404.51	18,313.77	18,355.00	18,352.05	18,543.53	+111.29	+0.60%
騰落幅		-27.73	-90.74	+41.23	-2.95	+191.48		
S&P500	2,173.60	2,170.84	2,157.03	2,163.79	2,164.25	2,182.87	+9.27	+0.43%
騰落幅		-2.76	-13.81	+6.76	+0.46	+18.62		
ナスダック総合指数	5,162.13	5,184.20	5,137.73	5,159.74	5,166.25	5,221.12	+58.99	+1.14%
騰落幅		+22.06	-46.46	+22.01	+6.51	+54.87		

＜先週の概況＞

先週の米国株式市場は、主要 3 指数が揃って上昇し S&P500 とナスダック総合指数はそれぞれ史上最高値を更新しました。

5 日に発表された米雇用統計が堅調で、米景気拡大に対する期待が高まりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



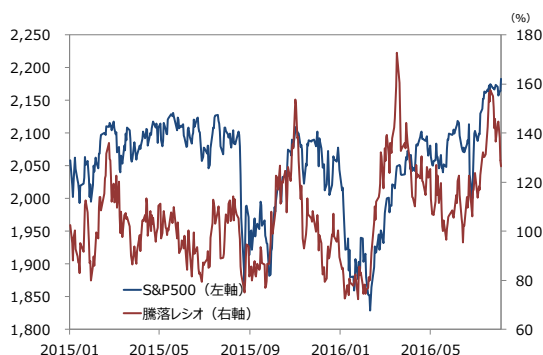
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.5	3.2	2.6%
S&P500	18.5	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.5	3.7	1.2%

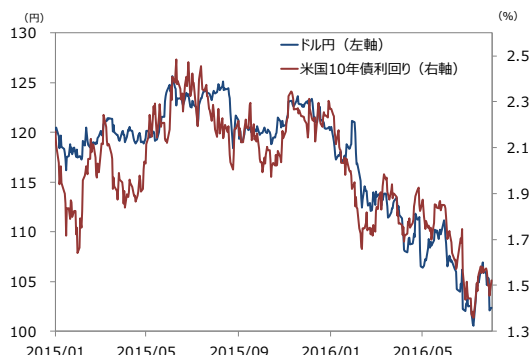
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年8月5日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

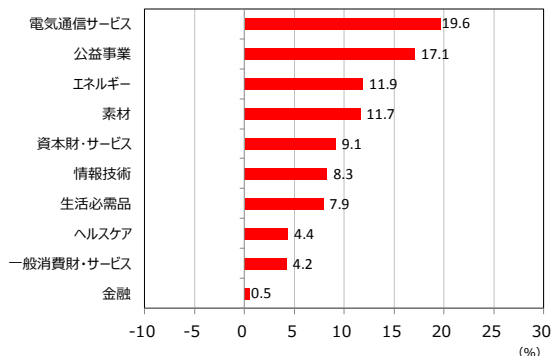
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

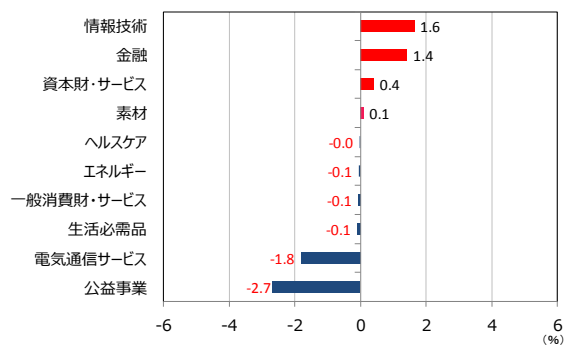
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (8/1-8/5)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
MRK	メルク	8.9
JPM	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	3.6
AAPL	アップル	3.1
V	ビザ	2.7
MSFT	マイクロソフト	2.3
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	2.1
TRV	トラベラーズ・カンパニーズ	2.0
IBM	IBM	1.8
CSCO	シスコシステムズ	1.7
AXP	アメリカン・エキスプレス	1.6

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (8/1-8/5)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
PFE	ファイザー	-3.9
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	-3.2
CVX	シェブロン	-1.9
XOM	エクソンモービル	-1.6
BA	ボーイング	-1.4
HD	ホーム・デポ	-1.0
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-0.8
KO	コカ・コーラ	-0.3
CAT	キャタラー	-0.2
UNH	UnitedHealth・ヘルス・グループ	-0.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中19銘柄が上昇しました。メルク (MRK) は同業のプリストル・マイヤーズスクイブ (BMY) が主力のがん免疫治療薬「オプジーボ」の進行肺がん患者に対する後期試験で症状の進行を遅らせることに失敗したと発表したことで買われました。また、良好な雇用統計が発表され早期利上げ期待が高まり JP モルガン (JPM) やゴールドマン・サックス (GS) の金融2社が堅調でした。

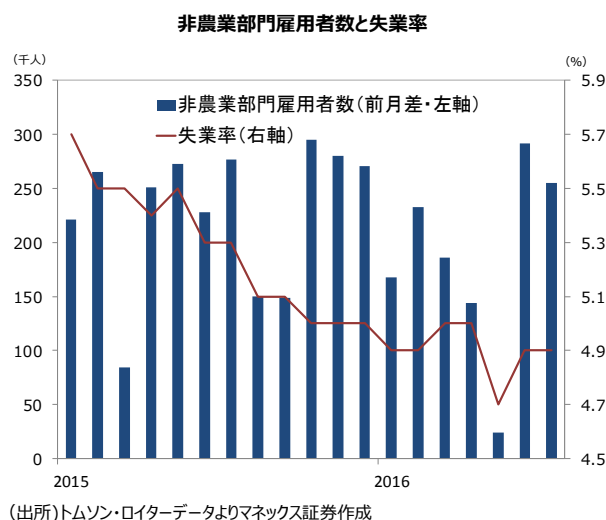
<下落>

ファイザー (PFE) は市場予想を上回る決算を発表したものの、材料出尽くしで売られました。また、原油価格の下落を受け、シェブロン (CVX) とエクソンモービル (XOM) の2社も下げています。

先週発表された主な経済指標

非農業部門雇用者数 7月 +25.5万人 市場予想 +18.0万人 前月 +29.2万人
 失業率 市場予想 4.8% 前月 4.9%

5日に発表された雇用統計は、全般に堅調な内容で米国労働市場の改善が続いていることを印象づけました。7月の非農業部門雇用者数は前月から25.5万人増と市場予想の18.0万人増を大きく上回りました。また、6月分が+28.7万人→+29.2万人、5月分が+1.1万人→+2.4万人にそれぞれ上方修正されています。年初から7月分までの非農業部門雇用者数の伸びは平均18.6万人と20万人をやや下回るものの堅調と言える水準で、米労働市場の改善トレンドは継続しているとみてよさそうです。



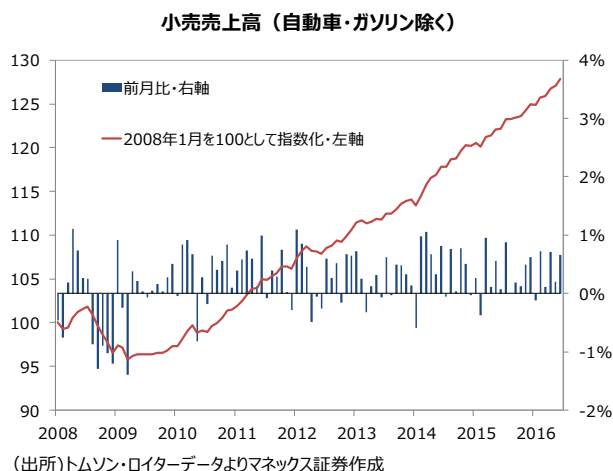
今後発表される主な経済指標

7月

小売売上高（前月比） 市場予想 +0.4% 前月 +0.6%

小売売上高（自動車・ガソリン除く） 市場予想 +0.4% 前月 +0.7%

12日に7月分の小売売上高が発表されます。米国経済の約7割を占める個人消費は堅調に推移しており、小売売上高も前月から0.4%増と堅調な伸びになると予想されています。

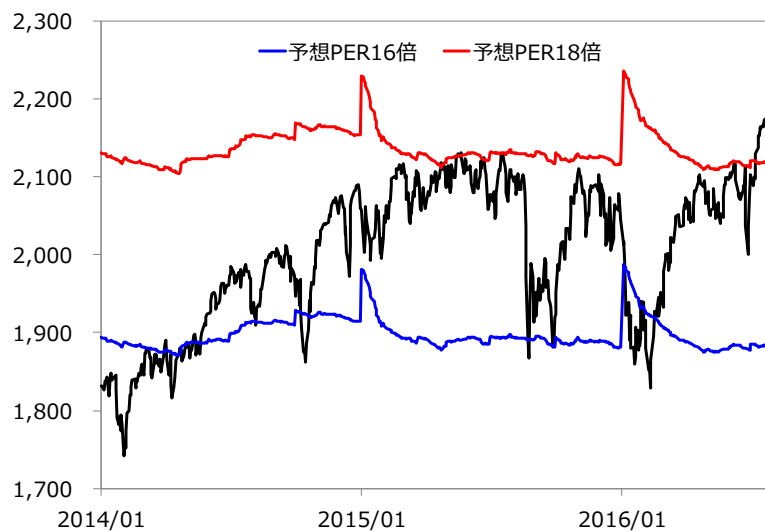


マーケットビュー—S&P500のPERはやや割高感あり—

先週のマーケットビューでは、英中銀の金融緩和の内容や雇用統計などの経済指標が材料になりそうと記しました。結果的に英中銀は利下げとともに資産買い入れ額の増額を発表しました。また、雇用統計が市場予想を上回る堅調な内容となったこともあり、米国株は上昇してS&P500とナスダック総合指数は史上最高値を更新しました。

今週の米国市場は雇用統計の発表を通過してやや材料難といったところですが、市場のセンチメントが強気に傾く中で一段高となるか注目されます。ただグラフに示したとおりS&P500の予想PERは18倍台半ばまで上昇しており、やや割高感のある水準です。利益確定売りが出やすい局面と言えます。

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergデータよりマネックス証券作成

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会